特集 平成30年度 みよし市教育行政方針

平成30年第1回みよし市議会定例会（3月議会）で、今瀬良江（いませよしえ）教育長が平成30年度みよし市教育行政方針を表明しました。これは、今年度の市の教育重点施策などを説明するものです。今回は、その内容をお知らせします。

▶問い合わせ＝教育行政課　☎(32)8028　FAX(34)4379

■はじめに

市民一人一人を大切に、市のさらなる教育振興を目指します。その根幹をなすのが、平成28年3月に策定した、みよし市教育振興基本計画「みよし教育プラン」です。策定以来、教育センター「学びの森」の開所、資料館のリニューアル、中学校での35人学級の実施など、多くの施策を推し進めることができました。平成30年度も、本プランに基づき、着実に教育行政を進めていきます。特に、新学習指導要領に向けた学校教育の充実、次代を担う子どもをみんなで大切に育てるための家庭教育力の向上、人生100年時代を見据え、いつまでも豊かな人生を送るための生涯学習の充実などを、重点施策として取り組んでいきます。

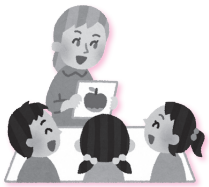
◆学校教育の振興

学校教育の分野においては、21世紀を力強く生き抜く力の土台となる「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の知・徳・体をバランスよく育てます。また、多様化する家庭や子どもの問題に対する相談・支援体制の整備に引き続き取り組み、どの子も自分らしく健やかに育つまちづくりを進めます。

●確かな学力の育成

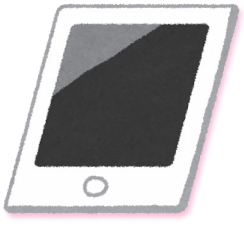
平成30年度から新学習指導要領への移行期間が始まります。移行措置により、小学校では「特別の教科　道徳」が新学習指導要領による実施となります。各教科においては、小中学校ともに一部が新学習指導要領による指導へ移行します。

皆さまの期待・関心の高い小学校外国語活動については、小学5・6年生で年50時間、3・4年生で年15時間の授業を行っていきます。市独自の取り組みとしては、小学校1年生では3時間、2年生では5時間の外国語活動の時間を設け、早期から英語に慣れ親しむ活動を行うなど、外国語活動の充実を図ります。また、すべての授業でティーム・ティーチングによる指導が実施できるよう、ALTや外国語活動対応非常勤講師、外国語活動専科教員を配置し、より質の高い授業を行います。



論理的思考を養うプログラミング教育については、平成30年度より「みよし市立小学校プログラミング教育推進計画」に基づいて、6年間の系統的な学習を開始します。併せて、教員の指導力向上のために、情報教育についての研修も実施していきます。

ICT教育推進の一環としては、平成29年度に小学校・中学校それぞれのモデル校1校にタブレット端末を試験的に導入しました。平成30年度は、その有効性について検証を行った上で、ICTを活用した教育の推進計画の策定を進めていきます。



また、「分かる授業」、「できる授業」、「楽しい授業」の実現には教職員の研修が欠かせません。平成29年度より教員研修の見直しを進めており、平成30年度は教職員の自主研修を創設するなど、より充実した研修体系の整備を進めていきます。

●豊かな心の育成

平成28年度からの3年間、国・県の指定を受け、三好丘中学校区において小学校、中学校、地域が連携した人権教育総合推進地域事業を展開してきました。平成30年度はその最終年となります。自他を認め、一人一人を大切にする心を持った子どもを育て、思いやりあふれる地域づくりを進めます。

また、道徳教育の重要性が叫ばれる中、平成30年度から小学校での「特別の教科　道徳」がスタートしますので、あらゆる機会をとらえて人

の気持ちを思いやる子どもを育成します。

●健やかな体の育成

運動面においては、心身の健康を保持増進するための素地づくりができるよう、市独自の体つくり運動プログラムを策定します。また、子どもが生涯にわたって運動に親しみ、安全に仲間と鍛え合うことができるように、部活動指導ガイドラインの作成を進めます。

小学校体育科の授業をより充実させるために、引き続き体育の教科アドバイザーを配置し、専門的な立場から先生方の支援をしていきます。地域や学生ボランティアおよび部活動外部指導員などの人的整備を進め、子どもの運動機会の充実を図ります。

他にも、学校給食センターでは、3カ年計画で実施していた調理場の天井耐震化工事と食中毒予防対策としての環境改善工事を平成30年度に完了させることで、適正な施設環境の維持管理を行い、安全安心で栄養バランスのとれた給食の提供を行います。

また、給食を通した食育の推進として、小学1年生から3年生までを対象とした栄養教諭による指導を継続するとともに、地産地消の取り組みとして、柿や梨、

▲みよし市産の切り干し大根が使われた給食を味わう小学生

切り干し大根など、みよし市産の食材を積極的に活用していきます。

●個に応じた支援の充実

きめ細かな指導の実現のため、市では現在、小学1年生から3年生までと中学校全学年で35人学級を実施しています。義務教育9年間のうち、6年間は35人学級を実現していますが、平成31年度から、残る小学4・5・6年生でも少人数学級を実施できるよう、平成30年度から準備を進めていきます。

また、多様化し増加する特別な支援が必要な子どもへの対応のため、特別支援教育対応教員補助者を増員します。

教育センター「学びの森」においては、引き続き「ふれあい教室（適応指導教室）」や「初期日本語指導教室」を開催し、子どもの発達や不適応への相談活動の充実を目指します。現在、経験豊かな校長経験者2人をハートケア教育主任サポーターとして配置しており、今後も個々に寄り添った支援の充実に努めます。

▲教育センター「学びの森」

●学習環境の整備

子どもが安全に安心して学習することができる環境を確保するため、学校施設・設備の適正な維持管理に努めます。

校舎などの老朽化に伴う大規模改修を順次計画的に進めており、平成30年度は北中学校の大規模改修3期事業として、プール改修や外構工事を行います。三吉小学校では、1期工事として、25年の建築基準法改正によって新たに必要となった体育館の天井の非構造部材の耐震化工事をはじめ、プール工事の設計を行います。また、三好中学校の体育館についても、体育館天井の非構造部材の耐震化工事を実施します。

●その他

このように、学校ではさまざまな取り組みが必要とされています。また、同時に教職員の働き方改革の必要性も叫ばれています。市においても、教職員が生き生きとした表情で存分に教育活動に取り組むことが、もっとも子どものためになると考えているので、平成30年度中に「教職員の多忙化解消プラン（仮称）」を策定し、先生の働き方を支えていきます。

◆社会教育の振興

市の文化活動の拠点である文化センター「サンアート」については、指定管理者による維持管理および運営を行い、市民の文化活動を応援します。

また、家庭教育の充実を図るとともに、子どもが社会と関わりながら次世代の担い手として自立できるよう、青少年の健全育成に取り組みます。

●文化センターサンアートの整備充実

「サンアート」については、平成5年のオープン以来20年以上が経過し、施設の老朽化が目立

ってきており、平成27年度から11年間の予定で大規模改修事業を実施していますが、新たに大小ホールの天井耐震化工事が必要になったことから計画を見直し、2年後に全館閉館して全ての改修工事を行う予定です。

平成30年度については、設計を行い、改修に向けた準備を進めていきます。

▲サンアート

●みよしの伝統文化の保存と継承

歴史民俗資料館では、常設展示に加え、寄贈、寄託および購入により収集した収蔵資料などを活用した企画展・特別展や、お囃子・巫女舞などの郷土芸能伝承活動発表会を開催しています。

▲冬季企画展（ひな人形展）

▲郷土芸能伝承活動発表会

平成30年度は、黒笹27号窯跡や酒井家金毘羅宮などの市指定文化財などを巡る「文化財めぐり」や、サンライブ、サンアートなど他の施設とも連携したイベントを開催し、市民が郷土の文化や歴史に触れる機会を創出します。

●家庭教育の充実

あいさつ運動も市内全域に広がり、5月のあいさつ強調月間も定着してきました。平成30年度もあいさつのあふれるまちづくりのために、さらなる啓発を行います。

家庭・地域・学校の連携による家庭教育力の向上を目的とした、「ふれあいトライアングル推進事業」については、平成29年度から全ての小学校区で展開しています。平成30年度も学校・家庭・地域がトライアングルを結び、家庭教育推進協議会を核に家庭教育の一層の充実を図ります。さらに、家庭の教育力向上のための啓発活動として、広報みよしに家庭教育に関するコーナー「家庭教育だより『はぐくみ』」を新設し、子育てや教育関係の情報を発信していきます。

また、平成30年度より毎月10日を「みよし市ノーメディアDAY」とします。これは、スマホやゲームなどの電子メディアの適切な使い方について、啓発を図っていきます。

●教育支援の充実

家庭学習の習慣が十分に定着しなかったり、学習が遅れがちであったりする中学生および高校生を対象とした、無料の学習支援である「みよし未来塾」が3年目となります。平成29年度の冬休みに試行的に実施会場を2カ所に増やしたところ、大変評判が良かったため、平成30年度から、地域住民や大学生などの学習支援員の助けをお借りし、正式に2カ所で開設します。

また、経済的な理由によって修学することが困難な学生および生徒に対し、その学業に必要な資金の一部を奨学金として支給していきます。平成29年度より高校生月額8、000円に、大学生月額12、000円に増額しており、平成30年度もこれを引き続き維持し、将来のみよしを支える有能な人材を育成します。

◆生涯スポーツの振興

市では、平成28年3月に策定した「みよし市スポーツ推進計画」に基づき、それぞれのライフスタイルに応じた『行うスポーツ』、『観るスポーツ』、『支えるスポーツ』の推進、『スポーツ環境の整備』および『スポーツ交流と連携』の5つを基本目標として取り組んでいます。

●行うスポーツの推進

市民の体力つくり、健康づくりのためには、ライフステージに応じたスポーツ習慣の確立が重要と考えます。平成28年度から募集定員を増員した幼児の親子体操教室をはじめとするスポーツ教室を引き続き実施します。

また、市民の体力つくり、健康づくりを担う総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」、

「三好さんさんスポーツクラブ」および「三好ともいきスポーツクラブ」を継続して支援することにより、市民にさまざまなスポーツ実施の機会を拡大・提供していきます。

●観るスポーツ・支えるスポーツの推進

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、さらに2026年には第20回となるアジア競技大会が愛知県において開催される予定となり、観るスポーツについての関心も盛り上がりを見せています。

中でも、アジア競技大会で、カヌーポロ競技が実施される場合には、本市の保田ケ池カヌーポロ競技場が競技場候補地とされています。平成30年度も引き続き「カヌーのまち みよし」を合言葉にカヌーの普及に努めるとともに、カヌー競技におけるオリンピック強化指定選手への賞賜金交付制度を継続し、選手の強化および育成を図っていきます。

▲保田ケ池カップカヌーポロ大会

また、平成29年2月の名古屋グランパスエイトとの相互支援協定に続き、同年10月には、バレーボールチームであるトヨタ自動車サンホークスとホームタウンパートナー協定を締結しました。これをきっかけに今後も、サッカーやバレーボールの公式戦の観戦機会の提供や、選手との交流機会をつくります。

▲三好公園総合体育館で行われたサンホークスによる試合

●スポーツ環境の整備と交流の促進

三好公園では、平成27年度にテニスコート、平成28年度にトレーニングルームを拡張・改修するなど計画的に施設改修を実施し、多くの皆さまに施設をご利用いただいています。施設改修に併せて実施した、市民の生活習慣病予防、健康寿命の延伸を目的とした健康度評価事業を引き続き実施するなど、総合体育館が市民の皆さまの健康づくりの拠点となるよう努めます。

▲ランニングマシーン

▲テニスコート

また、市民が気軽にスポーツイベントに参加できるよう、カローリング交流会やレクリエーションスポーツフェスタなども引き続き実施します。

▲カローリング交流会

▲レクリエーションスポーツフェスタ

市の伝統的なスポーツイベントである体育祭や新春マラソン駅伝大会も継続実施し、スポーツを通した地域の交流促進を図っていきます。

▲体育祭

▲新春マラソン駅伝大会

◆生涯学習の振興

図書館学習交流プラザ「サンライブ」は、市の生涯学習の拠点施設です。市の魅力を来館者に知ってもらうために、館内の「情報の道」に市内の古窯（こよう）を紹介する展示などを行い、引き続き市の情報を発信していきます。

また、文化団体の育成として、市文化協会の自主的な活動に対する支援を継続していきます。

●生涯学習講座の充実

サンライブでは、さまざまな分野の専門家が講師となる「大学との連携公開講座」をはじめ、みよしの自然・歴史・文化を楽しく学ぶ「生活創造講座」、語学や異文化について楽しく学ぶ「国際理解講座」、パソコンなどの情報・通信機器の操作などを学ぶ「情報・通信講座」の4種類の分野で講座を開催していきます。

平成30年度は、さらに多くの皆さまに参加していただくために、講座を9つ増やし、延べ192講座を春夏、秋冬、新春の3回に分けて開催します。

また、平日の夜間や土曜日、日曜日を活用した「勤労者講座」を開催するとともに、高齢者が受講できる講座数を増やすなど、生涯にわたり学習することができる環境整備を進めます。

子ども向けの講座では、夏休み期間中に開催していた小学生とその保護者を対象とした「親子短期講座」を生涯学習講座に組み入れ、土・日曜日など学校休業日に開催し、より参加しやすくなるようにしていきます。

さらに、自ら継続して活動している生涯学習活動団体への支援として、生涯学習発表会を開催したり、生涯学習活動団体の取り組みを体験するイベントをサンライブを会場に開催したりします。

▲生涯学習発表会（芸能発表）

▲生涯学習発表会（作品展示）

●読書啓発活動の推進

中央図書館では、利用者の要望に応えられるように中期的な蔵書計画に従い図書収集を進めています。雑誌や音楽のCDなどを充実するとともに、新聞記事や法令などのオンラインデータベースによる図書以外による情報の提供も引き続き進めていきます。

▲中央図書館（雑誌コーナー）

また、子どもたちの読書を通した心の触れ合いを育むため、第三次子ども読書活動推進計画に基づき、子どもたちが読書の楽しさを発見できる環境づくりを目指していきます。併せて、図書館支援団体との協働により、図書館ボランティアの養成と技術向上を図るための講座や、絵本の読み聞かせなどのイベントを進めていきます。

小中学校へ向けた活動としては、学校読み聞かせボランティアへのサポートや、学校図書室運営に関する助言、図書資料の団体貸し出し、学校へ向けた専用図書の整備、各学校への配本サービスを行うなど学校支援の充実を図り、学校と連携して子どもたちの読書環境の向上に努めます。

▲読み聞かせボランティアレベルアップ講座

■おわりに

子どもたちや市民の皆さまの幸せな未来のため、みよし教育プランの基本理念である「学ぶ楽しさで、人と人とをつなぐ」の実現に向け、市の教育のさらなる発展を目指して、教育委員会と行政組織だけでなく、学校・家庭・地域、その他関係機関や団体と一層の連携を図り、積極的に教育施策を推進していきます。皆さまのご理解、ご協力をお願いします。